



優秀賞 大阪府交通安全協会会長賞

大阪市立 四貫島小学校

四年 安達 美風

右みて左みて右をみて

私は冬休みに入り、「安全確認をしてから横断歩道をわたる」という目標を決めました。なぜこの目標にしたかというと、以前、信号の無い横断歩道をわたっている時に、車のかげからもう一台、車がきてぶつかりそうになって、びつくりしたことがありました。その横断歩道は家の近所にあるのですが、車の量も多く、トラックもよく通るのでしっかりと安全確認をしてからわたろうと思ったからです。実せんしてみると、つい安全確認を忘れたりすることがありました。なぜなら、家族と一緒にいると、安全確認を家族にまかせてしまつて、ついていくだけになってしまつてからです。あわててしまつて横断歩道を走つてしまつてもありません。走るとかえつて危ないこともあり、このままではいけないと思い、よりいっそう落ち着いて安全確認を心がけるようにしました。そして、車が止まつてくれ

た時は運転手さんの目を見ておじぎをするようにしました。ゆづつてくれているかどうか、確認することができからです。

また、信号のある横断歩道も、信号無視をした車が急に來るかもしれないので、安全確認をしなければいけないということに気づきました。とくに大きい車からは歩行者は見えづらく、運転手さんが私たちに気づいているか分からないので、はずかしがらず手を挙げて横断歩道をわたろうと思いました。

今までは運よく事故にあわなかつたんだ。いっどこで自分が事故にあうか分からない。事故にあわないためにも、この言葉を頭の中に入れて、自分の命を守っていきます。「右みて左みて右をみて」